

札幌学院大学

商学部	人文学部	法学部	商学
商学科	人間科学科	法律学科	商学科
経済学科	英語英米文学科		

Sapporo Gakuin University

学園広報

1989. 2. 28 No.42

学校法人 明和学園
 編集・発行 札幌学院大学 庶務課
 〒069 北海道江別市文京台11番地
 電話 (011)386-8111

電子計算機センターに新型計算機

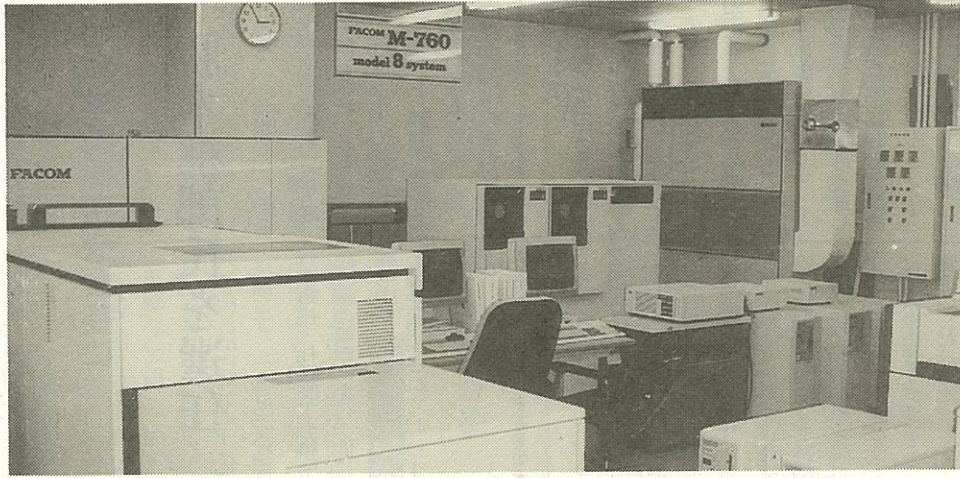
〔FACOM M-760モデル8〕導入

東京以北の私大では最大規模

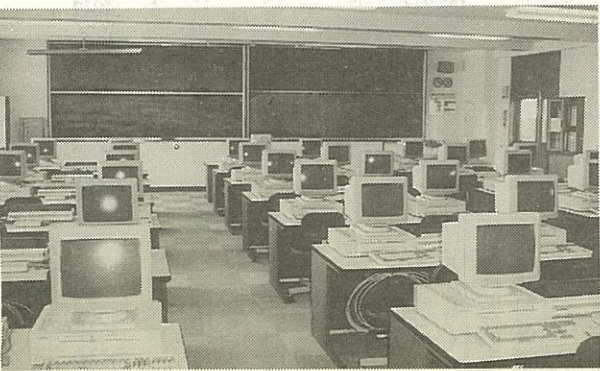
本学電子計算機センターの新型機種として、昨年八月東京以北の私立大学の中では最大規模の、大型汎用電子計算機システム「FACOM M-760モデル8」が導入された。これは、文部省からの「私立学校施設整備補助金」の対象である、情報処理教育の一層の充実を目指す教育施設であり、「学内総合情報システム」の確立を目指す各種の最新鋭周辺機器からなっている。昨年各種の試験等調整を完了し、十月には正式に引き渡しを受け、後期授業から利用が開始された。このシステムは、本年四月旧システムからの移行作業を終え本格稼働に入る。

増大する各種計算処理需要に対応

現在、本学における情報処理・日本語処理・イテリ教育・学術研究及び事務処理・メッセージ処理への需要など利用等の計算需要は年々増大している。今回導入された新型計



主機械室



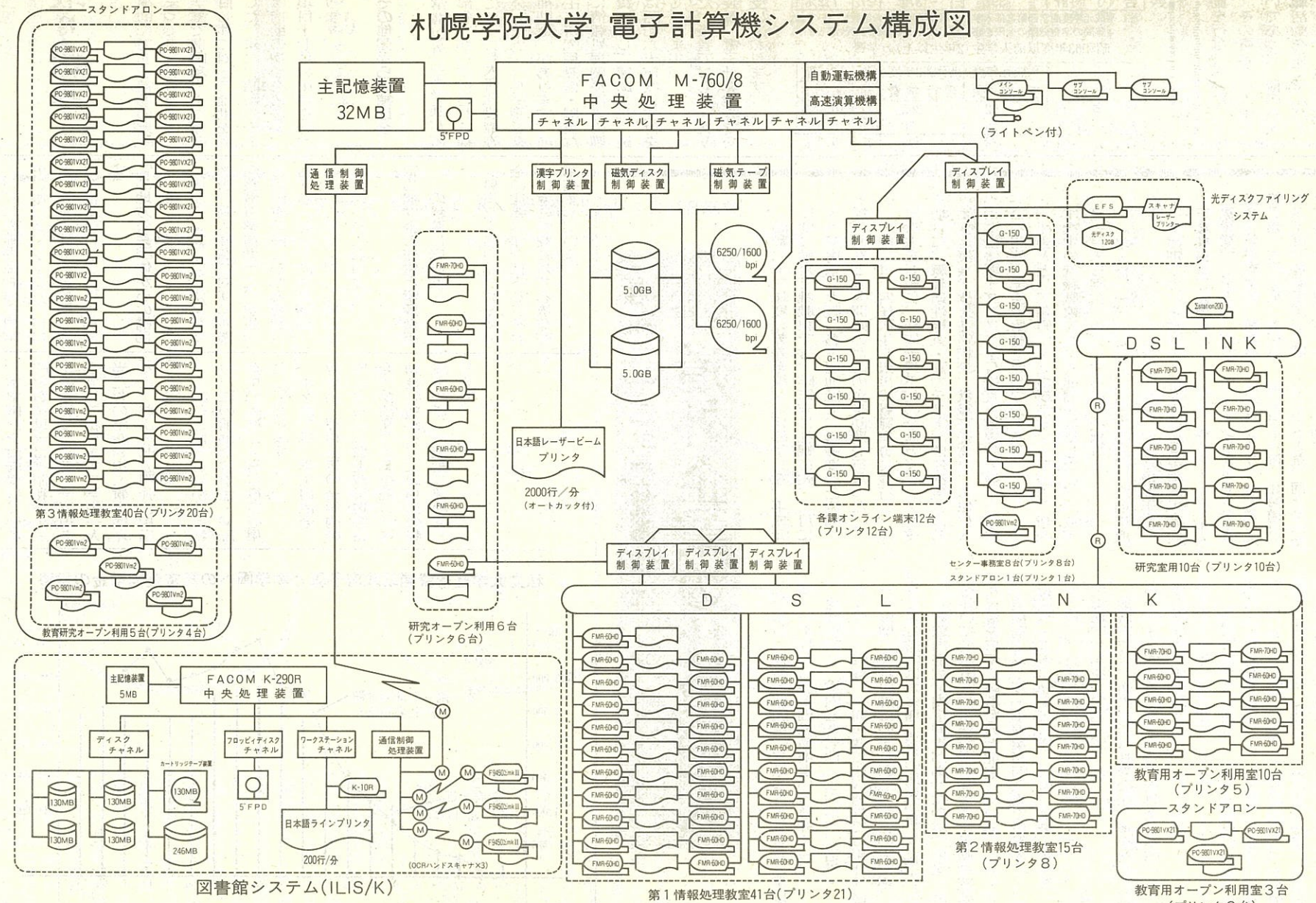
第1情報処理教室

算機は、このような需要に十分に応えられる高水準技術を集約したものであり、柔軟な教育利用・研究利用・事務利用などの総合情報システムを構築し、特にUNIXが利用できる環境が整備されている。また学内事務用には、事務処理を円滑に行うための各種簡易言語が提供されている。

学内総合情報システム構築に対応

システム構築が可能になっていく。教育・研究用には16ビットパソコンFMR-60および32ビットの高速新世代パソコンFMR-70、事務用には高性能32ビットマシンG-150を結合して、さらに研究用には、UNIX対応のワークステーションStation 200が、図書館ではオフラインK-290Rが導入されている。

札幌学院大学 電子計算機システム構成図



推薦入試結果、第一期試験入学志願者状況

推薦入試結果、第一期試験入学志願者状況

平成元年度入試は、去る十月八、九日の推薦入学試験を皮切りにスタートをきった。今回は、推薦入試の結果と第一期試験入学の志願状況

がまとまったので報告する。推薦入学の志願者総数は、表Iの通り六二八名で過去最高となり、前年度比では、一五五名の三二・七増となつた。

推薦入学の志願者総数は、表Iの通り六二八名で過去最高となり、前年度比では、一五五名の三二・七増となつた。特に道外と浪人の受験者が増え、一・八倍となり、か

た。特に道外と浪人の受験者が増えた。英語英米文学科が特に伸びたが、最近の人気を反映して、経済学もかなりの志願者を伸ばした。また、人間科学科は女子の志願者がさらに増えた。

表I 平成元年度推薦入学結果

Table with columns: 学科名, 推薦区分, 志願者, 受験者, 合格者, 入学者. Rows include 商学科, 経済学科, 人間科学科, 英語英米文学科, 法学科, 二部商学科.

表II 第一期試験入学志願者状況

Table with columns: 学部・学科, 平成元年度, 昭和63年度, 増減, 増減率. Rows include 商学部第1部, 商学科, 経済学科, 人文学部, etc.

お知らせ

昭和六十三年度卒業式

三月十八日(土) 北海道厚生年金会館ホール 午後零時三十分 卒業祝賀会

平成元年度入学式

四月四日(火) 北海道厚生年金会館ホール 午後一時

課外活動の

上げ潮に向けて

本学の重点施策のひとつに位置づけられている「学生生活の活性化」のためには、その基礎条件のひとつともいえる課外活動の振興をますます図る必要がある。

その「課外活動」の位置づけについては、本学はこれまで必ずしも、積極的な位置づけをしていなかった。その現れとして課外活動は学生自治会と同様の「自主的な活動」として位置づけられ、援助金の性格も「自主財源に対する補助」にとどまっていた。

この「課外活動」の位置づけは、大学の共同社会において、学術・文化・スポーツ・ボランティア等の課外分野の活動に積極的に関与し、自主的に参加すること、社会生活を営むうえで極めて必要な自律性・協調性・指導力、さらには、創造力等を養うことができる。

こうしたことが、就職採用においても重視される傾向にある。このため、課外活動をより積極的に位置づけ、「自主的な活動」を基本におさえつつも、その課外活動を「推進・奨励」することを明確にし、学園後援会からの課外活動に対する理解と多大な援助のもとに、制度面や財政面の諸施策を来年度に向けて次のように講じていく。

1 財政援助体制の強化について 2 現行推薦入学制度の改善

昭和63年度明和学園後援会 研究図書自費出版補助対象 図書決定

- 専任教職員の研究成果を自費で図書として発表するとき、図書の1部を明和学園後援会が買い上げるにより出版を援助しようと、昭和56年度から実施されておりますが、今年度は3点の図書が補助対象となりました。 これらの図書は、本学図書館にも備えつけられ利用できるようになるほか、他大学・研究機関にも配本され、研究交流に役立てられることになっております。

寄付者山名

- (文泉会(同窓生関係)) 池田久雄、加藤俊、坂下明彦、藤原登、村上喜雄、菅原登、齊藤一敏、下山鉄郎、浅田福丸、佐藤光正、安宅文男、鷹羽秀雄、岸本正弘、小田耕一、芳賀卓、加藤三雄、高山和保、横嶋孝夫、小森征真、大広勇、坂井ユウ子、鈴木達美、田村守、齊藤俊雄、穴戸良雄、深堀武司、野寺孝、岡田賢、豊田弘志、野崎毅一、山根義典、白石武光、照井勇、小笠原繁一、遠藤未治、飯塚保夫、熊谷恭秀、小向由則、田口文雄、天野隆彦、小早光彦、阿部哲夫、野田昌克、植本高、宮本明、岡部榮、運上正、加賀屋茂、田中宏、高野良太、平林富美雄、勅使河原浩、富土川正信、吉田清、古川正志、高橋英規、関口清、酒井章嗣、山越邦夫、工藤梅子、仙石勲、工藤清造、木村亨、池永浩三、橋内孝治、高野三、坪根博、村上咲夫、伊藤健三、太田武久、齊藤俊昭、白根亮二、久保田秋之介、稲谷敏、中川亮三、細川新輔、川中一、山本安三、古御堂健、福原勝則、山田紀一、三上弘平、渡谷光義、久原規綱、市村勝太郎、金子坂内浩、佐藤寿和、今村義和、大泉健治、古川忠、木村慎三

目標額を達成して募金終了 深く感謝申し上げます

本学園では、昭和六十一年援・協力をお願いしたものであり、秋から二年にわたり、学園創立四十周年・大学開学二十周年記念事業の寄付金募集を行ってまいりましたが、昭和六十三年十二月三十一日までに寄付金は一億三千四百九十三万円余に達し、大きな成果を収めて募金を終了致しました。この募金は、本学園創期の校舎「農業館」のイメージを再現し、建学の精神を日々新たに培うふれ合いの場となる「建学記念館」の建設を中心に、式典・講演会・イベントなど多彩な記念行事を実施するに当り、広く学園内外に支

1 寄附金集計表. Table with columns: 区分, 申込件数(件), 寄附金額(円). Rows: 個人, 団体, 法人, 合計.

2 区分別内訳表. Table with columns: 区分, 目標額(円), 申込件数(件), 寄附金額(円). Rows: 文泉会, 後援会, 学員, 教職員, 園, 学生父母, 一般事業法人, 合計.

ただ、別表の通り目標額一億円を超える浄財が寄せられ、このほど総ての事業を滞りなく終了することができた次第であります。各位の深いご理解と温かい芳情に對しまして、学園一同大きな感謝を覚えるとともに、衷心より感謝に堪えないところでございます。この上は、皆様方のご期待に副い得ます。

よつ、一層、教育研究の質的充実を図り、次代を担う有為の人材を育成するよう努力を傾注致す所存でございます。ご芳志を賜りました方々のご尊名は「寄附者御芳名録」を作成・印刷し、未永く記録として留め、お礼といたす次第でございます。

(昭和61年10月17日から昭和63年12月31日まで)